



25周年を迎え、中期業務計画を着実に実行します

所 長 神 野 好 孝

工業技術センターは、昭和62年12月に現在地にオープンし、今年12月で創立25周年を迎えます。これまでの間、当センターの業務・運営に際し、県内の業界団体・企業、関連機関の皆様には多大なるご協力・ご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

さて、昨年8月下旬に製造業を中心とした県内企業の皆様に対しまして「当センター利用について」アンケート調査を初めて実施し、多くの方からご回答をいただきました。

この中で、利用した業務とその満足度は、以下のとおりでした。

「技術相談・指導」	100%
「情報提供」	100%
「依頼試験、設備使用」	99%以上
「その他の業務」	95%以上

また、当センターから発信している有用な技術情報は、次のような事項でした。

- ①「研修会や講習会の案内」
- ②「依頼分析・試験の紹介」
- ③「研究報告」
- ④「設備紹介」

さらに、当センターへの今後の期待は、以下の様な事項が上位に挙げられました。

- ①「技術相談機能の充実」
- ②「依頼試験・分析、設備使用の充実」
- ③「講習会やセミナーなどの開催」
- ④「先端技術などの技術情報の提供」

このような企業ニーズを踏まえ、重要性・緊急性の観点から一層の峻別と重点化を図るなどにより、機能を更に高め、本県産業の振興・発展に貢献するため、平成24年度から5年間を期間とする「鹿児島県工業技術センター中期業務計画」を

策定し、ホームページに掲示しました。

計画では、当センターの最大の役割は、県内企業のニーズや時代の要請等を的確に捉え、技術支援や研究開発を通じて県内企業の「技術的拠りどころ」として、県内製造業の発展、ひいては本県産業の振興に寄与することとしています。

これを実現するため、業務の柱を「**企業活動の支援**」に位置づけ、県内企業の技術の高度化や競争力を高める独自技術の開発に対して技術支援を強化するとともに、より迅速に対応できるように職員の資質や能力の向上に努め、当センターの経営資源を最大限に効果的に活用できる運営体制と環境を整備していきます。

当センターは、これまでも県内企業の活動支援を組織の役割として実施してきましたが、今後はこのような取り組みを一層強化し、依頼試験、設備機器利用、企業への技術研修など積極的に取り組み、県内企業の技術向上や技術的課題の解決に努めます。そして、技術支援業務における企業の満足度を高め、県内企業からの利用拡大を図り、企業活動を支援します。

また、当センターの研究開発の方向性を「**地域資源付加価値創出**」と「**ものづくり基盤技術高度化**」に定め、研究課題の重点化と研究資源の重点的な配分を推進し、企業ニーズに対応した研究開発に取り組むこととします。さらに、積極的に国等による競争的研究資金の獲得に努め、大学・高専や企業等との連携を強化するなど戦略的な研究開発により、企業の技術力や市場競争力の向上を支援します。そして、かごしま製造業振興方針に掲げる「**地域資源を活かした新産業育成**」や「**オンリーワンの技術によるキラリと光る企業の育成**」等を目指して、県内各機関と連携しながら県内製造業の振興に努力いたしますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。